



ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114



直江津小路 撮影 松本 栄規さん

「たより」No.264 目次

会員数とふるさと市場報告.....	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	2
・上越の行事・展示会の予定	
小林古径記念美術館の開館、越後・謙信 SAKE まつり 2020	
・上越、旬の話題	
雪國商店開店、おむすびカフェ	
なんでも上越	4
・上越市の人口移動と移住への取組	
上越市からのお知らせ	5
上越のDNA	6
・庄山悦彦氏	
上越産品販売のお知らせ	7
会員ひろば.....	7
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 600 名です。(令和 2 年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(9 月) の販売状況 合計 128 件 ¥224,212 (前年同月 42 件 ¥102,742)

Jネットの活動とお知らせ

コロナ禍により、会合には制約がありますが、その代わりに「たより」やホームページ（HP）の充実、上越産品の紹介・販売拡大、ならびに、上越応援の取り組みを一層、充実するように努めてまいります。

(1) 10～11月の東京サロンは休会。

10月および11月の東京サロンは休会します。12月以降の予定は、「たより」やHP、あるいは事務局にてお問合せください。

(2) 名古屋サロン、ならびに近畿サロンはしばらく休止。

名古屋サロン（当初9月予定）、ならびに、近畿サロン（12月予定）については、しばらく休止します。

(3) 東京新潟県人会館の改築新設。

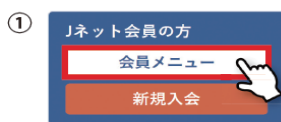
東京新潟県人会館は、平成30年（2018年）11月より、建替工事を進めてきたが、予定通り、令和2年11月下旬には、新会館完成の見込みです。新会館での東京サロン等の会合開催を期待しております。

(4) ホームページ（HP）が好評です。

本年4月1日（水）にリニューアルしたHPが好評です。

「上越のカラフルで大きな写真」Jネットからのお知らせや「たより（カラー版）」、関連サイトへのリンクなどが見やすく掲載されています。

ぜひとも、ネットにて、「ふるさと上越ネットワーク」、または、<https://joetsu.gr.jp/> を検索して、ご覧ください。



会員の皆様には、下記にて、上越タイムズ電子版もご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員の方：会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし上越タイムズ社HPへ
- ③ 下記のID・PSWにてログインしてください。
ID → PSW →
※約3か月ごとに変更します※



同窓会・郷友会のご案内

(1) 東京板倉会（清水忠志会長）

第33回総会・懇親会は11月10日（火）開催の予定でしたが、コロナ禍のため中止となりました。

(2) 直江津高等学校・中等教育学校同窓会関東支部（勝島敏明支部長）

恒例の年次総会は、11月霞ヶ関ビルにて開催予定でしたが、コロナ禍のため、実際の会合は中止し、書面にて開催されます。

とれたて上越コーナー

(1) 上越の行事・展示会の予定

① 小林古径記念美術館の開館

小林古径記念美術館は、10月3日、上越市立歴史博物館から、小林古径邸へ移り、開館した。現在の古径邸や画室に加え、古径作品常設の古径記念室や企画展示室などを備える。

開館記念展として、小林古径と上越市ゆかりの作家の作品を展示する「じょうえつ美術のチカラ」を開催中。

（令和3年3月21日まで。詳細は、上越市HP「小林古径記念美術館」参照）。



② 越後・謙信 SAKE まつり 2020

10月24日、25日にオンライン開催

同まつりは、ネットで「越後・謙信 SAKE まつり公式サイト」を開設、オンラインにて祭りを開催するほか、実店舗に加え、イベント限定酒「車懸」などの酒やグッズ、特産品等の販売を予定。



詳細は、「越後・謙信 SAKE まつり」公式サイト <https://www.kenshinsake.com/> をご覧ください。

(2) 旬の話題

① 雪國商店開店—東京有楽町交通会館に上越産品専門店

9月17日、有楽町交通会館1階にて雪國商店が開店。同店は、上越地方の産品（一部佐渡）の専門店で、雁木や組子細工の意匠など凝らして上越の趣きでいっぱいです。

運営会社の上越ケーブルビジョン（JCV、当会会員）によれば、出店まで3年間かけたとのこと、隣は、むらからまちから館、お向いが近畿日本ツーリスト、通路一つ隔てて、北海道アンテナショップ（年間200万人来店）という超絶好の場所です。



開店のテープカット。中央が齋藤JCV社長

上越の雪がもたらす美味しい農産品や海産物、発酵食品、お米やお酒など、品揃えが豊富で、上越人のみならず、たくさんの人たちに気に入ってもらえそうです。

<開店の模様は、同日に関東地区でNHKにて放映されました。>

② おむすびカフェ（マイクロカフェ）—調布深大寺にて

新潟の食や情報の発信基地をコンセプトとし、新潟のアンテナショップコーナーを併設した、“おむすびカフェ”です。（同店ブログより）

噂を聞きつけて、ある日の夕方、訪ねてみました。

オーナーは妙高出身の古川優孝さん（42歳）。2011年にこちらにお店を構えました。

新潟といえば、「お米」。妙高の知人農家から取り寄せたコシヒカリを毎日精米し炊き上げた“こだわりおむすび”が売りです。野菜も農家であるご実家や知人から取り寄せた安心のもの。



メニューには、定食や丼ものをはじめ、地酒や、新潟の雪室醸成の優しくて深い香りのブレンドコーヒーや甘麹ドリンク、米粉や米ぬかを使った自家製スイーツなどに至るまで、すべて新潟にこだわった多彩な品々が並んでいます。とくに地酒の種類の多いこと。「岩の原ワイン」や「雪中梅」等々、懐かしい銘柄がすぐに目に飛び込んできます。

レストラン入口付近には、新潟や上越の物産が並び、そこには、上越市のパンフレットなども置いてあり、そのなかに、なんと、「Jネット」入会お勧めパンフレットもありました！

夕食時、店内は老若男女、親子連れで賑わっていました。

オーナーの古川優孝さんはお名前の通り、優しくて温厚そう。立ち話をしている間にも、ある老婦人が「笹団子」をテラス席で食べたいと注文されていました。地元のご常連に愛されているレストランなのでしょう。

気持も安らぐこのカフェには、古川さんに「ネット入会のお勧めを兼ねて、もう一度お邪魔したいものです。
(祖父江ひろみ 記)

おむすび cafe&dining micro-cafe

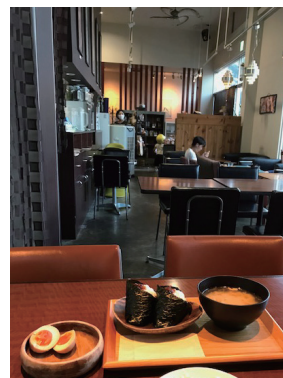
〒182-0012 調布市深大寺東町 2-10-5 TEL 042-444-3039

⑨ (スーパー TOP、サミットコルモアと共用)

営業時間 10:00 - 21:00 (LO 20:00)。

定休日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)

☆平日は都心で同店フードワゴンが活躍しているとのこと
(ブログより)



なんでも上越

コロナ禍で在宅勤務やテレワークが広まり、仕事と生活に変化が起きつつある。地方移住への関心も、東京、大阪、名古屋の三大都市圏居住者の15%、とくに20～30代では20%を超えるまで高まっている(内閣府本年6月調査)。

当然、東京から2時間、居心地のよいわが上越市はその有力な対象となっても不思議ではない。そこで、今回は、移住についての上越市の取り組みを紹介してみたい。

上越市の人口移動と移住への取り組み

(1) 上越市の人口移動

——人口転出超と未婚増・少子化が進展、中山間地域の転出も深刻

上越市の人口は、平成の大合併時(2005年10月)の208,803人から、令和2年8月では、189,755人(男93千人、女97千人)と15年間に9.1%減少。4時間半に1名の減少とも言われるが、その大きな要因は、出生率ダウン(女性の子供出生数は1.50人前後)と若年層の転出超(転出－転入)にある。とりわけ、15-24歳の若年女性層の転出超は、2015－2019年の5年間で1,804人と、同男性の983人を大きく上回る。

その若年女性の転出は、未婚・晩婚の増加となり、少子化に拍車をかけている。

上越市内部の移動では、中山間地域から高田・直江津や企業立地地域などへの移動がみられ、中山間地域の人口減少は著しい。一方、外国人は、2004年の1719人をピークに、その後工場労働者減少により1,000人程度で推移してきたが、2018年には1,503人にまで増加。

(以上は、上越創造行政研究所資料より)。



(2) 移住への上越市の取組み

こうした人口減少を食い止め、上越市が活力を取り戻し、将来の発展を図るために上越市行政は様々な施策を行っているが、その重点施策の1つとして、移住（U・Iターン）への取組みがある。

上越市は、専門部署として、上越市ふるさと暮らし支援センター（TEL 025-526-5111 自治・地域振興課）を設けて、「U・Iターン支援事業」を行っている。その概要は下記の通りで、県との連携を含め、多岐にわたって受入れ体制を整えている。

・情報収集

上越市ふるさと暮らし支援センターを設置、5名に移住インフルエンサーを委嘱、ふるさと暮らしセミナー実施、県と連携しての東京での移住支援デスク設置やセミナー実施など。

- ・体験・交流 移住体験ツアーやふるさとワーキングホリデー実施など。
- ・就業等サポート 就転職や起業のサポート（情報提供や資金補助を含む）
- ・住宅 物件や空家情報、定住のための資金補助、ガス料金割引など。
- ・子育てや教育 環境整備、こども医療費助成など。初等中等教育施設充実。
- ・農業の指導 農業の手引きや補助金など。
- ・移住資金の調達 地元3銀行の移住資金支援を紹介。

上記の詳細は、上越市ホームページより、「令和2年度 上越市U・Iターン支援事業」（上越市ふるさと暮らし支援センター主管）を検索してご覧ください。

報道などでも紹介されている通り、大都市以外でのサテライトオフィスの新設、ワーケーション、現会社籍のまま、ふるさとに戻り勤務する「ふるさとテレワーク」なども始まっている。

さらには、デジタル技術を活用して「時間・場所を超えての新しい働き方」（例えば、自宅で仮想マシンを操作するコールセンター業務。すでに実用化）など、どんどん、働き方は変わっていくと思われる。同時に、意識でも、職場よりは生活の質を優先する風潮も強まるという。

そうした中であって、歴史と文化があり、豊かな自然環境、うまい食事と優しい上越人、それに住環境が整っている上越市こそは、移住には、絶好の対象地域ではなからうか。

（文責 Jネットたより編集）

上越市からのお知らせ

(1) 上越の魅力をお届け

上越市は、SNSで上越の美しい風景、旬の見どころなど、まちのホットな話題を発信しています。「サクライト上越市民@上越市公式」を検索してご覧ください。



(2) 上越特産市場キャンペーン(9月上旬～12月末)

上越市は、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」を運営、キャンペーンとして9月9日～12月末まで割引キャンペーンを行っています。

「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からお申し込み下さい。

庄山悦彦氏 元 日立製作所代表取締役社長・会長 元 経団連副会長

「人の世は支え合い」とは、我が国最大の総合電機メーカー日立製作所の代表を務めた故庄山悦彦氏が時々口にした言である。

日立グループ約1千社33万人を率いて、その活性化に努めた。経営信条は、「全員協力が活動の基本」。トップダウンではなく、現場力を重んずるボトムアップである。

庄山氏は1936年3月、旧高田市南城町に生れ、高田高校、東京工業大学を卒業、1959年日立製作所入社。主として重電部門を歩むが、役員になってからは家電も担当。1999年同社代表取締役社長、2007年会長、2009年相談役、2016年名誉相談役。（本年6月5日（金）逝去。享年84歳）



後輩に語りかける庄山悦彦氏

この間、経団連副会長、政府の情報通信審議会会長や総合科学技術会議議員、ものづくり大学会長、ファインセラミックセンター会長、機械振興協会会長、発明協会会長などを歴任、2007年に仏レジオン・ドヌール勲章、2015年には旭日大綬章を受章、本年6月5日の死没日を以て従三位に叙せられた。

その多忙な活動の中にあっても、若い社員に口説かれて、中学時代の演劇部経験を活かして、世界ふしぎ発見のCMに駆り出されるなど人気も高く、周囲から慕われた。

また、同窓同郷の活動には殊のほか関心が高く、母校同窓会の高田高校校友会東京支部長、東京工業大学蔵前工業会理事長を引き受け、その行事に皆勤出席、後輩たちを熱心に応援した。当Jネットの和久井前会長を偲ぶ会にも駆けつけられ、献杯の音頭をお取りいただいた。

普段の穏やかなお姿に派手さはないが、エネルギーは驚異的である。そのエネルギーはどこから来たのだろうか。本人曰く、「たいしたことはないが、強いて言えば、高田の豪雪かな。それと母1人の家庭環境も……。母親には感謝しきれないほど感謝している」

豪雪で育ち、耐えること、我慢すること、粘り強く物事にあたることが自らの強みになったという。そして、彼を育てた母の偉大な愛と教え。早くに夫を亡くした母は、大手町幼稚園に勤めながら、女手ひとつで5人の子供を育てた。悦彦氏は4番目だが、良いこと、悪いこと、できることをあきらめないことを教わったという。そうした思いは、母を含む上越の人たちに昔から強かったのではないかと語った。

そうしたことを表すような、高田高校校歌の一節「小善とても勉むべし、小悪とても犯すなよ……」は、氏の好きな言葉だという。「私は、この歌詞に励まされてきた」と話してくれた太目の声と動じない目、人を包み込むような笑顔は今でも目に浮かんでくる。

我が国ものづくりの世界をリードする立場にあって、上越・高田人らしさを発揮し、貫いた一生であったように思えてならない。

（伊藤 利彦 記）

上越産品販売のお知らせ

- . J ネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A 3 版 1 枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- . 上越特産市場でキャンペーン（9 月上旬～12 月末）

本日より上越市からのお知らせ（P.5）をご覧ください。
ネット「上越特産市場」からお申し込みください。

- . 「新潟・上越妙高 うまさ直送！雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。

日時 10 月 24 日（土）、同 25 日（日）

11 月 28 日（土）、同 29 日（日）

会場 有楽町 交通会館 1 F

開業時間 11：30 - 17：30

- . 常設店舗 「雪国商店」

場所：有楽町交通会館 1 F。

営業時間 11：00 - 19：00

年中無休（年末年始は休業）

本日より旬の話題（P.3）、ならびにネットにて「雪国商店」を検索してご覧ください。

会員ひろば

わが母校上越市立「大手町小学校」

江東区在住 石黒繁子（旧高田市出身）

世の中「新型コロナウイルス」感染拡大により外出もままならず、ずっと家にとじこもっている毎日、そんなある日、何気なく本棚に目を移したところ「大手町小学校創立百二十周年記念誌」（平成 5 年発行）をみつけた。その時はごく自然に歌い出していた。

みどりのそよ風 もりの町
ひかりあふれる 学び舎の
窓へによれば ひとひらの
雲が希望を よんでいる
わたくしたちの ぼくたちの
楽しい大手の 小学校



「高田城址公園・極楽橋前にて」 右側が筆者

昭和 25 年に制定されたなつかしい校歌だ。

卒業して 60 年以上たっているのに覚えている。当時の校長は、長谷川増吉先生、担任は、1～3 年 長谷川八重子先生、4～6 年 佐久間孝次先生だった。

毎日仲町 3 丁目から儀明川を渡り本町通りをすぎ、司令部通りをまっすぐ進み、青田川をこえて通っていた。

小学校の校庭には樹齢三百年をかぞえる「二本松」もなつかしく思い出される。

「記念誌」によると大手町小学校は、

- ・ 慶応 2 年に高田藩対面所（現榊神社）に藩校として設立
- ・ 明治 2 年、旧領奉行所（現大手小所在地）に移転し「脩道館」と改称し開校。
- ・ 昭和 22 年、現在の大手町小学校になる。

因みに「脩道」とは「人としての道を修めること」と記されている。

大手町小は、私の原点です。215 ページの「記念誌」をいつ気読み進んでいくうち、つい時間の過ぎるのも忘れふと気が付くと時計は夜中の 2 時をさしていた。これはいけない、早く寝ないとお肌に悪い、これで終わりにしよう。オヤスミナサイ。

鯉橋でございます。

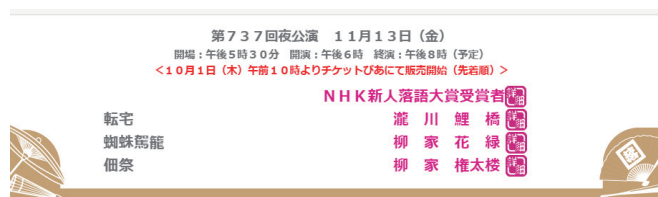
少しずつですが、高座機会が戻ってまいりまして、どうにかシノいでいる鯉橋です。

10月18日の大師匠・柳昇の生誕百年記念公演で久しぶりに踊ることになり、約10年ぶりに踊りの稽古を再開しました。とかく運動不足になりがちな今日この頃、ちょうど良いかも。

皆様もどうぞ体調にお気をつけてお過ごしを。瀧川鯉橋拝

◇10/27(火) お江戸日本橋亭、遊史郎師匠の会。
時 間：午後6時～8時半ごろ 木戸銭：2000円(前売・予約1500円)
出 演：遊七、鯉橋、遊史郎 - お仲入り - 枝太郎、ねづっち、遊史郎<以上出演順>
会 場：お江戸日本橋亭(三越前)
お問合せ：03-5909-3080(落語芸術協会)
◇11/6(金)、8(日)、10(火) 池袋演芸場、夜の部「芸協新真打披露興行」
時 間：午後4時45分～8時半ごろ。
※鯉橋の出演時刻は未定。
木戸銭：3000円 ※特別興行のため、変更の可能性有。要お問合せ。出 演：昔昔亭A太郎、瀧川鯉八、桂伸衛門(以上、新真打)ほか。
お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇11/13(金) 東京落語会
時 間：午後6時～8時ごろ
木戸銭：3500円(別途手数料がかかるそうです)
※10/1(木)から発売開始、先着順。
出 演：権太楼、花緑、鯉橋、ほか。
会 場：イイノホール(霞が関、または虎ノ門など)



◇12/20(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第31回)
時 間：午後4時～5時半 木戸銭：1000円
出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの高座有り。
会 場：喫茶「ひとやすみポン」
お問合せ：080-5544-9241(オビ)
◇12/21(月) 八起寄席(相模大野)
午後7時～8時45分ごろ。1000円。鯉橋(一席)、志ん吉(二席)。会場：焼肉八起

◇令和3年 1/11(月・祝)
鯉橋独演会～鯉のつなわたり・その16～
時 間：午後5時半～7時半(予定)。詳細未定。
会場：お江戸日本橋亭(三越前)

みなさまのお越しをお待ちしています！

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

「ネット」は上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、上越魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読む人を元気にします。

送信先：k.miyazato@araipr.co.jp

◎次号「たより」は11月25日の発行です。